

## 【「三陸エコビジョン・プレフォーラム」開催趣旨】

今回の大震災で私たちが再認識したことは、自然の力の脅威であり、いつの間にか失っていた「自然への畏敬の念」です。地球温暖化、生物多様性の危機、国家財政の巨額債務など、将来に抱える問題を考える上でも、自然と共存した町づくりのあり方が検討されるべきではないでしょうか。

私たちは、三陸被災地の持続可能な自然と共存する復興を願い「三陸エコビジョンフォーラム」を12月に開催するため準備を進めています。そのプレフォーラムとして、三陸地域を中心とした住民や自治体関係者が、海という自然の機能を理解し、その土地の自然、風土と調和した景観を再構築するための「三陸エコビジョン・プレフォーラム」～海と人との持続可能な共存を求めて～を開催いたします。

## 【講師プロフィール】



### ●秋道 智彌(あきみち ともや)

総合地球環境学研究所教授・副所長・研究推進戦略センター長。専攻は生態人類学、海洋民族学、民族生物学。昭和21年京都市に生まれる。京都大学理学部動物学科卒業。東京大学大学院理学研究科人類学専攻博士課程修了。国立民族学博物館助手、助教授、教授を歴任。2002年より現職。日本、東南アジア、オセアニアを中心に漁撈民を中心とした生態人類学的調査・研究活動を行っている。著書に『クジラは誰のものか』(ちくま新書)『コモンズ的人类学』(人文書院)『なわぼりの文化史』(小学館)『海洋民俗学』(東京大学出版会)などがある。



### ●畠山 重篤(はたけやま しげあつ)

1943年中国上海生まれ。牡蠣養殖業、牡蠣の森を慕う会代表、NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授、日本ペンクラブ会員。宮城県気仙沼市唐桑で牡蠣養殖業を営む傍ら、豊かな海を取り戻すめ、平成元年より漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動を続ける。また、子どもたちを養殖場へ招き、環境教育のための体験学習を続け、その数は一万人を超える。1994年朝日森林文化賞、2000年第6回環境水保賞、2004年第52回日本エッセイスト・クラブ賞、2004年第14回宮沢賢治イーハートブ賞など。著作に『鉄は魔法つかい』(小学館)、『森は海の恋人』(文春文庫)、『牡蠣礼讃』(文春文庫)、『鉄が地球温暖化を防ぐ』(文藝春秋)、『漁師さんの森づくり』(講談社)、『森・川・海 つながるいのち』(童心社)など。



### ●佐々木 剛(ささき つよし)

1966年岩手県宮古市生まれ。専門分野:水産教育学、水圏環境リテラシー教育推進プログラム、水圏環境教育学。1990年東京水産大学水産学部水産養殖学科卒。1990年～2006年岩手県立宮古水産高等学校教諭。その間1997年上越教育大学大学院修士課程、2004年東京水産大学水産学研究科博士後期課程修了(現職のまま)。2006年～東京海洋大学海洋科学部海洋政策文化学科。博士(水産学)。著書として『水圏環境教育の理論と実践』単著(成山堂書店)、『自然環境再生』(共著)、『里海探偵団がゆく!』共著(農山漁村文化協会)他。



### ●朝日田 卓(あさひだ たかし)

1961年岩手県水沢市(現在の奥州市水沢区)生まれ。1990年北里大学大学院水産学研究科博士後期課程修了(水産学博士)。日本学術振興会特別研究員、科学技術庁科学技術特別研究員等を経て、1997年北里大学水産学部専任講師。現在、同大学海洋生命科学部教授。岩手県内水面漁場管理委員、岩手県文化財保護審議委員、さんりく基金調査研究事業検討委員、大船渡市立博物館専門研究員、環境省自然公園指導員など環境や学習、文化等に関わる役職多数。『ベントスと漁業』共著(恒星社厚生閣)『三陸の海と生物』共著(サイエントリスト社)『岩手の魚百科』共著(岩手日報社)『奇跡の海三陸』共著(イー・ピックス出版)



### ●中野 裕司(なかの ゆうじ)

エコサイクル総合研究所所長、中野緑化工技術研究所代表。ジオグリーンテック(株)表層地盤研究所所長。ジオアンカー研究会会長。日本緑化工学会理事。斜面緑化研究部会幹事。都市緑化研究部会幹事。緑化・環境CPD協議会事務局長。土木学会地盤工学委員会斜面工学小委員会環境・生態系WGサブリーダー。認定NPO法人自然環境復元協会理事。NPO法人日本緑化工協会理事・技術委員長。CA緑化工協会顧問。自然再生緑化工協会顧問。日本下水コンポストネットワーク(JCN) 評価委員。TDM(樹木医関係者による情報交換ネットワーク約600名参加) 世話役。



### ●白澤 良一(うすざわりょういち)

1948年9月9日生まれ、岩手県立釜石南高等学校卒業、明星大学理工学部化学科卒業。1947年釜石市役所入庁、民生部清掃事務所長、岩手沿岸南部ごみ広域化処理調査検討協議会事務局長、民生部環境課長を歴任。2009年3月釜石市役所退職。2009年岩手県沿岸広域振興局 野生鳥獣保護調査検討委員会委員、2010年より岩手県環境審議会委員。2010年10月より岩手県環境交流センター運営委員。NPO法人遠野まごころネット会員、社団法人 全国ホテル研究会会員、社団法人 日本ネイチャーゲーム協会会員、釜石市地球温暖化防止対策協議会委員、かまいし環境パートナーシップ事務局長、釜石ホテル友の会事務局長、釜石野鳥の会事務局長。